

コンピュータ・ショック／メモリー・バンク (1986)

OVERDROWN AT THE MEMORY BANK

メディア TVM

ジャンル S F

製作国 アメリカ

時間 85分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

コンピュータが世界を管理している、未来社会。気象データを監視する仕事に従事していたフィンガルは、その退屈な業務に飽き、システムを利用して「カサブランカ」を観ていた。ところが怠けているのが見つかって、コンピュータを使って人格を動物へと移す“ドプラー”と呼ばれるリハビリ送りになってしまう。サルとなって戯れるフィンガルだったが、治療から戻そうとすると元の身体は行方不明になっており、会社は延命のために彼を管理コンピュータの中へと移すのだが……。

ジョン・ヴァーリー原作『汝、コンピュータの夢』のテレビ映画化。話を膨らませるために「カサブランカ」をモチーフに使い、フィンガルを消去しようとする社長を登場させるなどアイディアは面白いのだが、それを活かしきっていないのが残念。サルのシーンが明らかに他のドキュメント番組からの流用フィルムなのと、合成・効果音が安っぽいのが悲しい。85年にこんな地味なSF映画が作られていたことと、「トータル・リコール」よりもかなり早くにヴァーチャル・リアリティを取り上げていたことは評価できるが、ヴァーリー・ファン以外にはつまらないだろう。

【クレジット】

監督 ダグラス・ウィリアムズ

原作 ジョン・ヴァーリー John Varley

出演 ラウル・ジュリア Raul Julia

リンダ・グリフィス Linda Griffiths

ワンダ・キャンノン Wanda Cannon